

「戦争と平和を考えよう」

展示期間：8月1日（土）～ 8月25日（火）

	資料名	著者名	出版者	請求記号
1	米英軍記録が語る福島空襲	紺野 滋 // 著	歴史春秋出版	092 /コ
2	ケネディを沈めた男	星 亮一 // 著	潮書房光人社	092.8 /ハ
3	祈りの碑	長島 雄一 // 著	歴史春秋出版	092.8 /ハ
4	遥かなる日々	伊藤 剛 // 著	伊藤剛	099.6 /イ
5	吾が青春に悔いあり	菅野 孝明 / 文・イラスト	ふくしま平和のための戦争実行委員会	099.6 /カ
6	集団服毒自決生還への手記	岸 チヨ // 著	新風書房	099.6 /キ
7	戦場から会津へ	高橋 恵子 // 著	歴史春秋出版	099.6 /タ
8	祖国よ！	福島 泰樹 // 著	幻戯書房	099.6 /フ
9	わたしの八月十五日	わたしの八月十五日編集委員会 // 編	歴史春秋出版	099.6 /ワ
10	若い人に伝える	戦争体験文集を作る会 // 編	戦争体験文集を作る会	099.6 /ワ
11	世界史MAPS	DK社 // 編	主婦と生活社	209 /セ
12	地図とタイムラインでわかる戦争の世界史大図鑑	フィリップ セイビン // 監修	河出書房新社	209 /チ
13	危機と人類 上	ジャレド ダイアモンド // 著	日本経済新聞出版社	209.5 /ダ /1
14	危機と人類 下	ジャレド ダイアモンド // 著	日本経済新聞出版社	209.5 /ダ /2
15	白人侵略	三谷 郁也 // 著	ハート出版	209.5 /ミ
16	地図とタイムラインで読む第2次世界大戦全史	リチャード オウヴァリー // 監修	河出書房新社	209.7 /オ
17	杉原千畝とコルベ神父	早乙女 勝元 // 著	新日本出版社	209.7 /サ
18	裏切られた自由 上	ハーバート フーバー // 著	草思社	209.7 /フ /1
19	裏切られた自由 下	ハーバート フーバー // 著	草思社	209.7 /フ /2
20	地図とグラフで見る第2次世界大戦	ヴァンサン ベルナル // 著	原書房	209.7 /ヘ
21	沈黙の子どもたち	山崎 雅弘 // 著	晶文社	209.7 /ヤ
22	第九 永遠なり	徳島新聞編集局 // 編	徳島新聞社	210.6 /ダ
23	半藤一利語りつくした戦争と平和	半藤 一利 // [述]	東京新聞	210.6 /ハ
24	陰謀の日本近現代史	保阪 正康 // 著	朝日新聞出版	210.6 /ホ
25	近現代史からの警告	保阪 正康 // 著	講談社	210.6 /ホ
26	日本の戦争：歴史認識と戦争責任	山田 朗 // 著	新日本出版社	210.6 /ヤ
27	日本の戦争 2	山田 朗 // 著	新日本出版社	210.6 /ヤ /2
28	日本の戦争 3	山田 朗 // 著	新日本出版社	210.6 /ヤ /3
29	「名将」「愚将」大逆転の太平洋戦史	新井 喜美夫 // [著]	講談社	210.7 /ア
30	未還の名簿	青島 頭 // 著	集英社	210.7 /ア
31	きみの大逆転	青山 繁晴 // 著	ワニ・プラス	210.7 /ア
32	特攻隊の<故郷>	伊藤 純郎 // 著	吉川弘文館	210.7 /イ
33	731部隊と戦後日本	加藤 哲郎 // 著	花伝社	210.7 /カ
34	大統領に告ぐ	門田 隆将 // 著	産経新聞出版	210.7 /カ
35	樺太地上戦	NHKスペシャル取材班 // 著	KADOKAWA	210.7 /カ
36	彼女たちは、なぜ、死を選んだのか？	川嶋 康男 // 著	敬文舎	210.7 /カ
37	占領下の日本	衣川 太一 // 編著	草思社	210.7 /キ
38	女たちのシベリア抑留	小柳 ちひろ // 著	文藝春秋	210.7 /コ
39	戦災語り部ガイド	後藤 律子 // 著	文芸社	210.7 /ゴ
40	奪還	城内 康伸 // 著	新潮社	210.7 /シ

	資料名	著者名	出版者	請求記号
41	朝鮮半島で迎えた敗戦	城内 康伸 // 著	大月書店	210.7 /シ
42	関口宏・保阪正康のもう一度!近現代史 帝国日本の過ち	関口 宏 // 著	講談社	210.7 /セ
43	ぼくらの戦争なんだぜ	高橋 源一郎 // 著	朝日新聞出版	210.7 /タ
44	朝鮮出身の帳場人が見た慰安婦の真実	崔 吉城 // 著	ハート出版	210.7 /チ
45	日ソ戦争1945年8月	富田 武 // [著]	みすず書房	210.7 /ト
46	「駅の子」の闘い	中村 光博 // 著	幻冬舎	210.7 /ナ
47	AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争	庭田 杏珠 // [編]著	光文社	210.7 /ニ
48	検証学徒出陣	西山 伸 // 著	吉川弘文館	210.7 /ニ
49	原爆初動調査隠された真実	NHKスペシャル取材班 // 著	早川書房	210.7 /ニ
50	南方抑留	林 英一 // 著	新潮社	210.7 /ハ
51	ずっと、ずっと帰りを待っていました	浜田 哲二 // 著	新潮社	210.7 /ハ
52	日米戦争を策謀したのは誰だ!	林 千勝 // 著	ワック	210.7 /ハ
53	戦争というもの	半藤 一利 // 著	PHP研究所	210.7 /ハ
54	昭和史	半藤 一利 // 著	平凡社	210.7 /ハ
55	「玉砕の島」ペリリューから帰還した父	ゆき恵 ヒアシュ // 著	潮出版社	210.7 /ヒ
56	戦争と平和	百田 尚樹 // 著	新潮社	210.7 /ヒ
57	ソ連兵へ差し出された娘たち	平井 美帆 // 著	集英社	210.7 /ヒ
58	ビルマ絶望の戦場	NHKスペシャル取材班 // 著	岩波書店	210.7 /ビ
59	朝鮮戦争を戦った日本人	藤原 和樹 // 著	NHK出版	210.7 /フ
60	音声と写真でよみがえる昭和 戦中・占領期編	保阪 正康 // 著	NHK出版	210.7 /ホ
61	戦中派	前田 啓介 // 著	講談社	210.7 /マ
62	昭和天国と地獄	邨野 継雄 // 編著	朝日新聞出版	210.7 /ム
63	図説日中戦争	森山 康平 // 著	河出書房新社	210.7 /モ
64	少女たちがみつめた長崎	渡辺 考 // 著	書肆侃侃房	210.7 /ワ
65	敗者としての東京	吉見 俊哉 // 著	筑摩書房	213.6 /ヨ
66	原爆	石井 光太 // 著	集英社	217.6 /イ
67	呉・江田島・広島戦争遺跡ガイドブック	奥本 剛 // 著	潮書房光人新社	217.6 /オ
68	戦後ヒロシマの記録と記憶' 上	小倉 馨 // [著]	名古屋大学出版会	217.6 /オ/1
69	戦後ヒロシマの記録と記憶' 下	小倉 馨 // [著]	名古屋大学出版会	217.6 /オ/2
70	日本にとって沖縄とは何か	新崎 盛暉 // 著	岩波書店	219.9 /ア
71	沖縄戦の発掘 沖縄陸軍病院南風原壕群	池田 榮史 // 著	新泉社	219.9 /イ
72	沖縄「戦争マラリア」	大矢 英代 // 著	あけび書房	219.9 /オ
73	沖縄戦を知る事典	吉浜 忍 // 編	吉川弘文館	219.9 /オ
74	証言沖縄スパイ戦史	三上 智恵 // 著	集英社	219.9 /ミ
75	ドキュメント<アメリカ世>の沖縄	宮城 修 // 著	岩波書店	219.9 /ミ
76	ひめゆり学徒だった山内祐子さんが沖縄の高校生に伝えたこと	渡辺 考 // 著	講談社	219.9 /ワ
77	検証ナチスは「良いこと」もしたのか?	小野寺 拓也 // 著	岩波書店	234.0 /オ
78	ナチ 本の略奪	アンデシュ リデル // 著	国書刊行会	234.0 /リ
79	東ドイツある家族の物語	マクシム レオ // 著	アルファベータブックス	234.0 /レ
80	ナチの妻たち	ジェイムズ ワイリー // 著	中央公論新社	234.0 /ワ

	資料名	著者名	出版者	請求記号
81	ホロコーストの現場に行く	大内田 わこ // 著	東銀座出版社	234.9 /オ
82	アメリカの原爆神話と情報操作	井上 泰浩 // 著	朝日新聞出版	253.0 /イ
83	戦争の歌がきこえる	佐藤 由美子 // 著	柏書房	253.0 /サ
84	清六の戦争	伊藤 絵理子 // 著	毎日新聞出版	289.1 /イ
85	沖縄戦を生き抜いて	小澤 高子 // [述]	芙蓉書房出版	289.1 /オ
86	カミカゼの幽霊	神立 尚紀 // 著	小学館	289.1 /オ
87	真珠湾の代償	福井 雄三 // 著	毎日ワンス	289.1 /カ
88	異端の被爆者	横井 秀信 // 著	新潮社	289.1 /コ
89	わたくし96歳#戦争反対	森田 富美子 // 著	講談社	289.1 /エ
90	湯川秀樹の戦争と平和	小沼 通二 // 著	岩波書店	289.1 /1
91	アウシュヴィッツを生きのびた「もう一人のアンネ・フランク」 伝	エディス エヴァ イーガー // 著	パンローリング	289.3 /イ
92	黒い雨に撃たれて 上	パメラ ロトナー サカモト // 著	慶應義塾大学出版会	289.3 /フ/1
93	黒い雨に撃たれて 下	パメラ ロトナー サカモト // 著	慶應義塾大学出版会	289.3 /フ/2
94	ウクライナの夜	マーシ ショア // 著	慶應義塾大学出版会	302.3 /シ
95	ウクライナ戦記	宮嶋 茂樹 // 著	文藝春秋	302.3 /ミ
96	杉原千畝とスターリン	石郷岡 建 // 著	五月書房新社	316.8 /イ
97	ホロコースト最年少生存者たち	レベッカ クリフォード // 著	柏書房	316.8 /ク
98	ウクライナ戦争と米中対立	峯村 健司 // 著	幻冬舎	319.3 /ウ
99	ウクライナ侵略戦争	『世界』編集部 // 編	岩波書店	319.3 /ウ
100	ウクライナ侵攻までの3000日	大前 仁 // 著	毎日新聞出版	319.3 /オ
101	ウクライナ戦争はなぜ終わらないのか	高橋 杉雄 // 編著	文藝春秋	319.3 /タ
102	ウクライナ戦争の嘘	手嶋 龍一 // 著	中央公論新社	319.3 /テ
103	ウクライナ戦争をどう終わらせるか	東 大作 // 著	岩波書店	319.3 /ヒ
104	世界は広島をどう理解しているか	井上 泰浩 // 編著	中央公論新社	319.8 /イ
105	戦争とデータ	五十嵐 元道 // 著	中央公論新社	319.8 /イ
106	新・世界から戦争がなくなる本当の理由	池上 彰 // [著]	祥伝社	319.8 /イ
107	核兵器禁止から廃絶へ	川崎 哲 // 著	岩波書店	319.8 /カ
108	14歳のヒロシマ	梶本 淑子 // 著	河出書房新社	319.8 /カ
109	高校生平和大使にノーベル賞を	「高校生平和大使にノーベル賞を」刊行委員会 // 編	長崎新聞社	319.8 /コ
110	ナガサキ	スーザン サザード // [著]	みすず書房	319.8 /サ
111	戦争と平和を考えるNHKドキュメンタリー	日本平和学会 // 編	法律文化社	319.8 /セ
112	世界を平和にする第一歩	河出書房新社 // 編	河出書房新社	319.8 /セ
113	「戦争への道」ではなく「平和への道」を進もう	高橋 信敏 // 著	清風堂書店	319.8 /タ
114	核のある世界とこれからを考えるガイドブック	中村 桂子 // 著	法律文化社	319.8 /ナ
115	明子のピアノ	中村 真人 // 著	岩波書店	319.8 /ナ
116	被爆者からあなたに	日本原水爆被害者団体協議会 // 編	岩波書店	319.8 /ヒ
117	いま、<平和>を本気で語るには	ノーマ フィールド // 著	岩波書店	319.8 /フ
118	「戦争」は許されるのか?	稲葉 義泰 // 著	イカロス出版	329 /イ
119	戦争をいかに語り継ぐか	水島 久光 // 著	NHK出版	361.4 /ミ
120	東京大空襲の戦後史	栗原 俊雄 // 著	岩波書店	369.3 /ク

	資料名	著者名	出版者	請求記号
121	骨が語る兵士の最期	檜崎 修一郎 // 著	筑摩書房	369.3 /ナ
122	あの戦争さえなかったら 上	藤沼 敏子 // 著	津成書院	369.3 /フ/1
123	あの戦争さえなかったら 下	藤沼 敏子 // 著	津成書院	369.3 /フ/2
124	戦争はいかに終結したか	千々和 泰明 // 著	中央公論新社	391 /チ
125	独ソ戦	大木 毅 // 著	岩波書店	391.2 /オ
126	敗軍の名将	古谷 経衡 // 著	幻冬舎	391.2 /フ
127	コード・ガールズ	ライザ マンディ // [著]	みすず書房	391.6 /マ
128	ヒトラーのスパイたち	クリステル ヨルゲンセン // 著	原書房	391.6 /ヨ
129	大東亜戦争戦犯として処刑された陸軍将官36人列伝	伊藤 禎 // 著	展望社	396.2 /イ
130	三八式歩兵銃	加登川 幸太郎 // 著	筑摩書房	396.2 /カ
131	戦艦「大和」全記録	原 勝洋 // 著	潮書房光人新社	556.9 /ハ
132	七三一部隊の日中戦争	広中 一成 // 著	PHP研究所	559.3 /ヒ
133	原爆投下、米国人医師は何を見たか	ジェームズ L. ノーラン Jr. // 著	原書房	559.7 /ノ
134	戦争×漫画	水木 しげる // 著	小学館	726.1 /セ
135	『はだしのゲン』を読む	田口 ランディ // [ほか著]	河出書房新社	726.1 /ハ
136	ぼくは戦争は大きらい	やなせ たかし // 著	小学館クリエイティブ	726.1 /ヤ
137	戦禍の記憶	大石 芳野 // 著	クレヴィス	748 /オ
138	長崎の証言		JRP日本リアリズム写真集団 長崎支部	748 /ナ
139	1945年に生まれて	池澤 夏樹 // 著	岩波書店	910.2 /イ
140	戦争とミステリー作家	西村 京太郎 // 著	徳間書店	910.2 /ニ
141	戦争と平和 ある観察	中井 久夫 // 著	人文書院	914.6 /ナ
142	記憶の光景・十人のヒロシマ	江成 常夫 // 編著	論創社	916 /エ
143	高倉健の想いがつないだ人々の証言「私の八月十五日」	小田 貴月 // 著	今人舎	916 /オ
144	小学生のぼくが見た太平洋戦争	笠原 正雄 // 著	PHP研究所	916 /カ
145	女も戦争を担った	川名 紀美 // 著	河出書房新社	916 /カ
146	抑留	木村 正則 // 著	文芸社	916 /キ
147	少女たちの戦争	中央公論新社 // 編	中央公論新社	916 /シ
148	戦争が立っていた		暮しの手帖社	916 /セ
149	ひめゆりの塔	西平 英夫 // 著	雄山閣	916 /ニ
150	ヒロシマ・ナガサキ死と生の証言	日本原水爆被害者団体協議会 // 編	新日本出版社	916 /ヒ
151	インパール作戦従軍記	火野 葦平 // 著	集英社	916 /ヒ
152	遺言「ノー・モア・ヒロシマ」 第5集	林 昭雄 // [ほか]証言	ヒロシマ青空の会	916 /ヒ/5
153	わが米本土爆撃	藤田 信雄 // 著	毎日ワンス	916 /フ
154	孫と伝える「私の昭和史」	まつら みち // 著	悠々社	916 /マ
155	ひめゆりの少女	宮城 喜久子 // 著	高文研	916 /ミ
156	水木しげるのラバウル従軍後記	水木 しげる // 著	中央公論新社	916 /ミ
157	太陽はきっとどこかで輝いている	ミハエル グルエンバウム // [著]	新評論	936 /グ
158	アウシュヴィッツで君を想う	エディ デ ウィンド // 著	早川書房	949.3 /ウ
159	アウシュヴィッツの小さな姉妹	タチアナ ブッチ // 著	アストラハウス	976 /グ
160	戦争日記	オリガ グレベンニク // 著	河出書房新社	986 /グ
161	八月十日よ、永遠なれ	穂高 健一 // 著	南々社	F /ホ